

会 議 録（概要）

会議の名称	令和5年度 第4回佐渡市ケーブルテレビリニューアル検討懇談会
開催日時	令和6年3月27日（水） 10:00～11:00
場所	佐渡市役所本庁3階 第3委員会室
会議内容	挨拶 1 リニューアルにあたっての基礎値（ベースライン）の算定 2 これまでの懇談会での協議事項のおさらい 3 リニューアル案についての認識合わせ
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	非公開 （佐渡市附属機関等の会議の公開に関する要綱第3条(2)佐渡市情報公開条例第7条に定める公開しない情報（佐渡市情報公開条例第7条(3)イ実施機関の要請を受けて、公にしないとの条件で任意に提供されたものであって、法人等又は個人における通例として公にしないこととされているものその他の当該条件を付することが当該情報の性質、当時の状況等に照らして合理的であると認められるもの）について審議等を行う可能性があるため）
出席者	「ケーブルテレビリニューアル検討懇談委員」（9名） 「市役所」（4名） ・ 佐渡市総務部長 中川 宏 - 佐渡市総務部総務課デジタル政策主幹 中川 裕 - 総務課デジタル政策室長 椎 俊介 - 総務課デジタル政策室情報管理係主任 本間 義也
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	なし

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
椎室長	挨拶 ただいまから、第4回の懇談会を始めさせていただきます。 第2回目以降、本日まで時間を要してしまいましたが、第3回目の懇談会については委員個別に意見交換をさせていただき、その内容を踏まえての第4回目となる。 早速ではあるが、次第に沿って進めたい。
椎室長	1 リニューアルにあたっての基礎値（ベースライン）の算定 第2回の懇談会において数値的な拠り所であったり考え方のベースとなるようなものであったりがないと議論は難しいとのご意見をいただいたことから、事務局においてそうした基礎値（ベースライン）について考えたものを共有させていただく。 （資料に沿って説明）

椎室長	ご意見等あるか。 なければ次へ移る。
椎室長	2 これまでの懇談会での協議事項のおさらい 前回の全体としての懇談会より時間を要してしまったため、おさらいするものである。 (資料に沿って説明)
椎室長	ご意見等あるか。 なければ次へ移る。
椎室長	3 リニューアル案についての認識合わせ 第2回目以降の個別の打ち合わせを踏まえ、4つのリニューアル案に沿って進めたいと考えており、その内容について共有させていただきたい。 (資料に沿って説明)
椎室長 A委員	ご意見等あるか。 「B-2」案の「他サービスの維持可否」の「イントラネット」「消防NW」が「可能」となっているが、VCASTは基本的にはTVの通信網なので、ネットワークはそこに実現されておらず「不可」である。 その代わり、「C-1」案の「イントラネット」「消防NW」はVPNか何かを通せばトンネルを作って「可能」である。
中川主幹	ご指摘のとおりかと思うので、資料を修整する。 ただし、イントラネットを回す必要があるのかについては改めて検討しなければならないと思うし、その場合にはイントラネットを自前で敷設するという方法もあるので、その場合には「B-1」案のダークファイバーの借用という方法もあるのかなと思う。
B委員	そこはあわせて考えなければならないと思う。 経験則であるが、消防の指令用NWについて、今までのパターンでは自前の光ファイバーを使うか、回線を借りるとすればNTTのビジネスイサであるとかそういった専用の回線を使用していて、インターネットVPNを使用するといったことはしていない。
中川主幹 B委員	いずれにせよ、自前で持つというよりそういう方法もあるということか。 そのとおりである。 ただし、条件付きということにはなる。
C委員	「A-1」案と「B-1」案の「ランニング（年間）」の違いは、「B-1」案はイントラネットの保守を削除しているのか。
中川主幹	「B-1」案の「ランニング（年間）」は見積もれていないため、目標としては1億円を切る必要がある点を踏まえて試算した数値を入れている。 おっしゃるとおり、自前のイントラネットの保守が削減されているというイメージである。 説明が漏れたかもしれないが、主要な部分、特に消防を結ぶようなところは自前でイントラネットを持っておいた方がよいとの考え方を前提にしており、外回りにダー

C委員	クファイバーを借用しループ構成にできたらと考えている。 その形を試算したものである。
中川主幹	「B-2」案であるが、イントラネットも廃止するとなると、VCAST部分の連絡線の貸し出しや追い張りが必要になるため、その費用も含める必要がある。
C委員	VCASTに配信するための線ということか。
中川主幹	サブセンター間を結ぶための連絡線が途切れてしまうということである。
C委員	例えば、羽茂から赤泊か。
B委員	そのとおりである。
D委員	確かに、NTTの局舎の中にVCASTの設備があるとなると、恐らくその部分はダークファイバーを借用して引き込むという形がどうしても必要かなと。
中川主幹	イニシャルをご提示させていただいたものをまとめていただいていると思うが、方法論とすると総務省の補助金を活用するということなどを考えると、見た目の金額と佐渡市が負担しなければならない事業費と総務省から補助いただける部分を分類分けできるのではないかとということが1点。
D委員	「A-1」「B-1」「B-2」の各案については、何らかの形で自前でFTTH化にリニューアルするということと、「C-1」案についてはリニューアルは行わないということで、R6年度以降に詳細検討ということで進められると思うが、総務省への打診や相談についてはR6年度中に何かしら動いていかれる方がよいのではないかと思います。
中川主幹	当然、方向性が決まってから打診や相談をされるという考え方もあろうかと思うが、並行して進めていかないと、総務省の補助がなくなることはないとは思いますが、財源が絞られる可能性はあるので早めの相談が必要なのではないかと思います。
D委員	相談等については今の段階でできていないので、ご指摘のとおり相談等をしていく必要はあると思う。
中川主幹	一方で、補助金が充てられるのか否かの検討については、まだその段階まで至っていないというのが現状であるので、第三者的な立場からご助言いただけるとありがたい。
椎室長	承知した。 やはり、全面維持した場合を現状ラインと考えると、そこからどれだけ負担を下げられるかという案を模索していきたい。
E委員	感触としては、「B-2」案と「C-1」案は難しいのではと感じている。 それでは、来週からR6年度という時期に差し掛かっているが、本間の方から各社様へ金額の照会を行っている部分もあるので、数字が揃いしだい資料を整え、改めて皆さまに共有させていただきたい。
E委員	また、市長にも判断を仰がなければならないタイミングに来ていると思うが、この資料を見せて方針が決定することはないと考えている。
E委員	現状、佐渡市にはケーブルテレビ事業を自前で行う体力や機能もないため、指定管理者制度を活用しているが、20年後も同様の形を維持する必要があるのかといった点について掘り下げて議論する必要がある。
E委員	まずは、4月に向けて資料を完成させていくということを目標とさせていただきたい。
E委員	全体を通して、人口減少も踏まえ、コストを下げたり価格を上げたりしていかないと趣旨が合わなくなるという説明があったが、「A」～「C」の各案を見た時に、例えば「A」案を実行した場合は趣旨に合うというような検討もされているのか。

中川主幹	「A」案を実行しても、保守・維持管理の部分で基礎値（ベースライン）を切らなければならず、今の段階では厳しい状況である。
E委員	基礎値（ベースライン）の考え方について理解した。
	それから「C-1」案については、佐渡市がある程度の負担をしないと厳しいというのは今の状況から勘案してのことか。
中川主幹	おっしゃるとおり「C-1」案はインターネット加入が前提ということがあって、既にインターネット加入している方との区別も必要になる。
	例えば、TV視聴用のインターネットサービスというようなものが作れるのであれば現実的になってくるのではという気はしている。
E委員	承知した。
椎室長	他にご意見等ないようである。
	引き続き、個別のご意見やご相談等も含めてさせていただきたい。
	本日は共通のご認識をいただいたということでよいか。
	（一同の了承を得る）